

令和6年度 第1回長崎県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和6年8月5日（月） 14時00分～15時50分

開催場所：長崎市立図書館 研修室

出席者：委員11名（欠席者2名）、日本年金機構4名

オブザーバー：県内年金事務所長2名（佐世保、諫早）

1. 開 会 長崎南年金事務所 副所長(併)総務調整課長
2. 挨 拶 長崎南年金事務所長 本多 敦
3. 議 事 議事進行：長崎女子短期大学認証評価アドバイザー 玉島 健二(以下、委員長と標記)
議題1 令和5年度 地域年金展開事業の実施結果について
議題2 令和6年度 地域年金展開事業の事業計画について
参考資料（1）令和5年度における主な事業の取組状況（全国）
（2）長崎県の国民年金・厚生年金保険の状況
（3）各年金事務所の国民年金被保険者数及び納付状況

議題1 令和5年度事業実施結果報告について

事務局より、資料5ページから25ページ「令和5年度事業実施結果報告」について説明。各委員より質問、意見及び要望等をいただき今後の取り組みに活かしていくこととした。

議題2 令和6年度事業計画について

参考資料（1）～（3）

事務局より、資料26～31ページ「令和6年度事業計画」について説明。

また、資料32～36ページ「参考資料」について説明。各委員より質問、意見及び要望等をいただき今後の取り組みに活かしていくこととした。

【主な意見・質問等】

（委員長）

今年度より年1回の会議開催の予定としておりますので、質問、意見について積極的な発言をお願いしたい。

（檜山委員）

P12に関する要望です。年金セミナーの実施校について長崎の実業系の学校があまり見当たらない。現在の世間の動きとして転職をする可能性が高いと思うので、実業系の学校にもセミナー実施を広げて欲しい。長崎大学については経済学部のみとなっている。福岡県では福岡大学や九州大学において学生食堂で免除を取っていると聞いている。

（委員長）

P12のセミナーについて、高等学校が令和4年度38校が令和5年度26校と減っている状況である。回答の無い学校のリストをもらいたいと考えている。管理職へ対し私から電話勧奨をしたいと考えている。少しでも開催学校を増やさないといけないと思っている。私の学校では来年20歳になる学生に向けて2回に分けて今週実施を予定している。

(副所長)

令和6年6月25日付で高校80校、大学19校、特別支援学校23校、専門学校28校へセミナー実施案内文書を送付しており、8月9日を回答期限としている。

(委員長)

各学校での年金セミナーの優先順位が低く、年金教育は後回しになっているように感じている。

(犬塚委員)

金融リテラシーは授業で話をしているが年金については優先度が低いと思われる。

(委員長)

九州厚生局において情報が何かないでしょうか。

(本山委員)

宮崎県においては8大学へ毎月年金相談を実施している。大分は学生食堂で年金相談を実施しているが、お昼の時間帯は混雑しているので時間帯を変更しようとしている。

(所 長)

長崎大学については機構への採用の関係で学生課と話をした際に、セミナーの話をしたが各学部へ直接話をして欲しいとのニュアンスであった。

(本山委員)

大学へは何度もお願いをして始まっているようである。年金セミナーは大切だと社会科の先生が動いてくれたりするケースもある。

(委員長)

P16のテレビ年金相談について五島市が増えているが何か理由はあるのか。

(所 長)

広報は他市と同じようにしているが、五島市については窓口へ相談に来た際にテレビ年金相談の案内を積極的に行っているが、他市はそこまで案内していない状況である。

(檜山委員)

壱岐市については旧4町の中で旧芦辺町に設置されていて人口の多い旧郷ノ浦町ではないため活用が進んでいない。

(宮崎委員)

テレビ年金相談の拡大はしないのか。

(所 長)

テレビ相談は書類の細部まで見えるような仕様になっており費用がかかるため拡大に至っていない。

(土田委員)

P19の委員の拡大についてですが、現在の勧奨方法について教えて欲しい。

(副所長)

地域型については、直接、自治体職員の方へお願いしたり、民生委員の会議において委嘱の依頼を行ったりしており、職域型は文書と併せて、適用調査課の総合調査時にお願いしている。

(土田委員)

委員は事業を進める上でのキーパーソンだと思っているので引き続き勧奨が必要。

短時間労働者の適用拡大について要件51人以上の事業所などへ文書を送ると思うがそれ以外の勧奨は行っているのか。

(所 長)

文書勸奨とあわせて事業所へ訪問して制度説明を行っている。

(宮崎委員)

最低賃金については8万8千円がかかわってくる。対象者が増えてくると最低賃金も影響してくると思う。

(本山委員)

エッセイについてです。令和5年度は残念ながら応募がなかったとのことだが理想としては春先にセミナーを実施してもらってエッセイに結びつけるのがいいと思う。エッセイはセミナーの中で配布はしているのか。

(副所長)

セミナーで学校を訪問した際に担当の先生に手交し、エッセイのお願いをしている。

(本山委員)

高校生が書いているものが多いのでセミナーを実施する中で資料として配ってはどうか。翌年のエッセイの応募につながらないか。セミナー開催後のアンケート結果が資料としてついていないが、他県において年金はつぶれないか将来が不安であるとの意見が上がっていた。日本が無くならない限り年金も無くならないという説明をしてはどうか。私が佐賀大学で年金の話をした時に年金がなくならない話をするとう理解してもらえた。

(東島委員)

将来どうなるのか不安になっている。自分が対象年齢になった時にももらえるかどうか不安になっている。5年に一度の財政再計算等を活用して数字のエビデンスをもって説明してはどうか。

(檜山委員)

戦前からある年金制度であり制度自体は存続すると思う。

(委員長)

セミナー動画には日本が続く限りなくなると言っているが一言だけなので、説明する職員が補足的に言って欲しい。

(吉田委員)

年金の話をするときに、たとえ話として娘が癌になったが納めていないともらえない場合がある等のもらえない話が合ってもいいのではないか。

(吉野委員)

そもそもの話で申し訳ありませんが、年金委員とはどんな活動をする方ですか。

(所 長)

地域型年金委員は市町村職員、民生委員等の方々になっていただいております年金の啓発活動を行っていただいている。職域型委員は事業所の担当者等です。

(吉野委員)

自身の娘がもらえないかも知れないと言っておりもっと周知が必要だと思う。

(所 長)

20歳代の方は納付意識が高くなってきている。免除ではなく納付の意識が高い。

(委員長)

地域型委員の委嘱が難しいのではないか。民生委員は本来の業務が忙しいと聞いている。

(宮崎委員)

職域型は委員が退職した際の引継ぎがうまくいっていないケースがある。

(岳尾委員)

市町の代表として参加しているが連絡協議会で事務の簡素化の打ち合わせ等を行なっている。年金制度の周知については機構のWEBが分かりにくい等の意見をあげている。

(委員長)

犬塚委員へ質問があります。令和7年度開設予定の遠隔システムの状況を教えて欲しい。

(犬塚委員)

子供の数が減っていて高校の生徒数も減っている。先生の数も減っており情報系の授業については遠隔授業をすでに行っている。先般、機構の方が来られて打ち合わせを実施している。授業に限らず活用しようとしている。

(委員長)

長崎県は遠隔地、離島を抱えているので活用していただきたい。

(副所長)

教育庁DX推進室と打ち合わせを行っている。考え方は犬塚委員の説明のとおり。

(本山委員)

P17、P29のハローワークの説明会の実施についてお伺いしたい。

(所 長)

説明会はできている地区とできていない地区がある。

(宮崎委員)

65歳前と65歳以降に退職する場合にどう違うのかの質問が一番多い。

(檜山委員)

人によってケースが違うので65歳前に年金相談するのがいいのではないか。

(所 長)

個別に年金相談していただきたい。

議事終了

閉会挨拶・・・長崎南年金事務所長 所長 本多 敦